

平成 29 年 3 月 21 日

常務委員会承認

## 平成 28 年度 日本地学教育学会広報委員会（第 1 回）議事録

広報委員長 宮下 治

日時 平成 29 年 2 月 4 日（土） 14:00～16:00

場所 順天堂大学 御茶ノ水・本郷キャンパス 第 2 教育棟（宮下研究室）

出席 宮下 治（委員長）、吉富健一（副委員長）、青木秀則、小森次郎、  
竹下欣宏、藤平秀一郎、山下浩之 （下線：欠席）

内容

協議事項；

1. 平成 29 年 2 月～平成 30 年 6 月までの担当について

- ・委員会統括 ；宮下委員長
- ・学会HPの作成、管理及び運用（更新）；吉富副委員長、青木委員
- ・地学教育ニュース（学校現場などでの実践紹介）；藤平委員、山下委員
- ・学会員への連絡 ；小森委員、竹下委員  
    メールによるニュースレターの配信；小森委員  
    学会パンフレットの作成 ；竹下委員

協議の結果、上の通り承認された。

報告事項；

1. 各担当の活動報告（2016 年 2 月～2017 年 1 月）

(1) 学会ホームページの管理及び運用（更新）について

（吉富副委員長、山下委員 配布資料あり）

- ・学会ロゴマークを 2016 年 2 月からトップページに掲載した。
- ・ニュースレター投稿方法のページを 2016 年 4 月から新設した。
- ・フォントのサイズの変更ができるように現在調整をしている。
- ・トップページに学会ロゴマーク以外に写真を入れてはどうか検討中である。また、吉富委員より試作版が提示された。写真については、広報委員が実践している実習などの写真も活用していくことも検討した。
- ・J-Stage へのリンクのバナーを乗せてもらえないかと、伊藤常務委員長から提案があり、現在、吉富委員が検討中である。

(2) 「ニュースレター」について（小森委員、竹下委員 配布資料あり）

配信頻度

- ・2016 年 4 月以降、月 2 通前後を配信（配信先は約 500 のアドレス宛）している。

- ・ニュースレターは学会員サービスの重要な材料である。そのためにも、有益な情報をもう少し高頻度にすべきと考える（例えば、月に4通 毎週1通）。  
他の広報委員、会員の協力のもと配信情報が必要である。

配信の内容（2016年4月～2017年2月4日）

「東アジア科学教育学会 2016 年大会」開催のお知らせ	4/06		
「教科「理科」関連学会協議会シンポジウム」開催のお知らせ	4/07		
日本学術会議のアンケート（協力依頼）	7/13	笹川科学研究助成の公募	7/20
現地講習会開催のお知らせ	8/09	国際地学オリンピック開会	8/20
国際地学オリンピックの報告	9/01	徳島大会まで1週間	9/30
埼玉県地学研究大会開催のお知らせ	11/04		
天体画像教育利用ワークショップ開催のお知らせ	11/17		
2017 年大会、会長挨拶、学会賞ほか HP 掲載のお知らせ	11/29		
GSJ シンポジウム開催のお知らせ	12/16	学会主催企画のお知らせ	1/18
ELI 日本語版公開と助成公募のお知らせ	1/26		
JpGU2017 年大会_早期投稿 2 月 3 日まで	2/1		
国際会議のご案内_IGEO から	2/1		
国際地学オリンピック関連記事 in 地質ニュース	2/2		

広報委員内でのメール配信までの流れについて

以下の通り内容の確認を得てから配信を行うことで承認された。

- ア 配信の依頼または相談がメール配信担当者（以下「担当」）に届く。  
または、会員への周知が有益と考えられる情報を広報委員が見つける。

↓

- イ 担当はメールで他の広報委員に配信内容の確認を求める（本学会の企画であっても確認を問う）。返信を受け付ける期間は2日間程度とする。

↓

- ウ 返信の締め切りまでに異論のメールがない場合は、会員へ配信する旨を担当から広報委員へ送り、その後会員へ配信する。

ニュースレターのさらなる推進に向けて

- ・HP と連携してはどうか。配信の文章の中に HP の URL を定型文に入れてはどうか。
- ・学会誌の特集号など原稿募集も出してはどうか。
- ・配信前の委員内での確認メールはできるだけ可否の回答を出すようにしよう。
- ・メールニュースの名称の変更提案があったが、これまでと同じ名称を使用することとした。

### (3) 「地学教育ニュース」について（藤平委員）

- ・2016年2月以降3編の原稿が掲載された。毎号掲載の目標を何とかクリアしている。
- ・掲載前の記事として、徳島大会の巡検報告などがある。
- ・学会誌1冊に2編の原稿の掲載提案が編集委員会からあったが、それは難しい。現状では1編の原稿の掲載で固定していきたい。

### (4) 現地講習会（藤平委員）

- ・実施日：2016年9月24日（土）
- ・場所：国分寺崖線
- ・講師：藤平委員
- ・参加者：11名（牧野前会長ほか学会員、並びに学会員以外の方＜東京海洋大学の先生ほか＞の参加もあった。）

## 2. 今後の予定・企画（2017年2月～2018年1月）

### (1) 学会パンフレットの作成

- ・作成作業は、竹下委員が主体となり進める。
- ・最初の活用先は兵庫大会。大会受付で広報委員が配布するか。
- ・内容は詰め込みすぎずにまずはビジュアル重視で試作する。
- ・コンセプト、盛り込む内容を広報委員の中で確認していくこととする。
- ・入会した場合のメリットを書き込んでいく。
- ・作成行程目標：第一次案を3月10日までに作成し、3月21日の常務委員会に諮る。  
その後修正をし、5月の常務委員会で再度諮り、最終原稿とする。  
また、6月末までに今年度予算により、印刷を行う。

### (2) 地学教育ニュース

- ・原稿の投稿先は広報委員会で受け付けることとする。
- ・体裁を整えるだけでも作業量が多い。他の広報委員のさらなる協力が今後は必要である。
- ・原稿は小学校・中学校・高校などの関係者に限らず、博物館と学校との連携での実践や、ジオパークの関連などから記事を募ってもよい。
- ・学会ホームページに「地学教育ニュースの記事募集」のサイトを提示する。  
これについては、吉富副委員長に原案を作成してもらい、広報委員会で確認後、3月21日の常務委員会に諮ることとした。

### (3) 現地講習会

- ・広報委員会による企画であることから、開催の通知対象は非会員を優先する。会員の参加も歓迎する。
- ・2017年度も藤平委員に企画・講師を依頼する。
- ・9月頃に東京都世田谷区周辺で実施を予定する。

次回 2017年度 日本地学教育学会広報委員会（対面による）（予定）

日 時；平成30年2月3日（土） 14:00～16:00

場 所；帝京平成大学 中野キャンパス

以上